

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	3	課題区分	C	令和4年4月1日	
横断的な課題	リニア及び三遠南信自動車道の開通を見据えた取組の推進					南信州地域振興局	
地域重点政策	地域資源を活かした地域振興						
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	リニア活用・企画振興課	
事業名	「南信州産シードル」普及促進事業				電話	8-237-2285	
					E-mail	minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	シードルの醸造量の拡大を図るため、シードルを取り入れた農業経営モデルの作成を行い、新規就農者やりんご生産者等がシードルの委託醸造に取組みやすい環境を整備する。					
	現状と課題	【現状】 高齢化等で管理できなくなったりりんご園の継承或いは管理の請け負いを検討している農家や新規就農者等シードル生産への取組を希望する者が、農業経営にシードルを取り入れようとした際に参考となる経営モデルがない。 【課題】 省力化を前提とし、シードルを取り入れた農業経営モデルを策定する必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	○シードル原料果実生産の省力化に必須となる「原料生産専用園」で原料りんごの生産を行い委託醸造する場合の経営モデルを策定するため、実際に「原料生産専用園」で生産を行っている生産者の栽培管理に要する労働時間及びほ場面積を把握する。					
	事業期間	令和4年2月		～	令和4年3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	シードル原料生産経営モデルの作成	原料生産専用園での栽培管理に要する労働時間及びほ場面積のとりまとめ	13,092	1,091円/hr×6hr×2日 =13,092円			
	合計		13,092				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	経営モデル策定		1モデル	1モデル	● 達成		
					○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	「原料生産専用園」で原料りんごの生産を行っている生産者の協力で、生産にかかるコストのデータを収集し、原料持ち込みでシードルを委託醸造する場合の経営モデル(1モデル)を策定した。この経営モデルにより、他の果実との複合的な生産や省力化に向けたコストの見直しに向けた検討材料ができた。						
今後の方向性	今後は、シードル適正品種の経営モデルについても作成を検討する。						